

<地元事業者への発注制度の創設>

町内の事業者の経営が安定し、成長していただくために、役場からの物品の購入や工事の発注などが地元の小売店や建設事業者などに重点的に発注されるよう「ニセコ町商工業振興地元優先発注制度」を創設します。

このことにより、町内の金融・経済が刺激され、自立・循環型の経済確立へ一助とすることができます。

<駅前温泉綺羅乃湯への新エネルギーの導入>

(株) キラットニセコは、関係者役職員の皆さんの努力で黒字経営がなされています。

温泉施設の事業経営のうえで大きなウエイトである、燃料費の低減を図り、合わせて化石燃料を低減させCO₂の排出削減を進めます。

また、環境モデル都市を推進するため、綺羅乃湯の施設整備は、国や関係団体の支援をうけて、間伐材利用の代替えエネルギーの導入や、新エネルギー・省エネルギーの導入による効果を調査し、長期的視点による経営の安定化に繋がる施設整備方針を検討し、町民の施設利用がしやすい入浴料金の設定や、高齢者利用の無料化を実現できるよう、指定管理者と協議を進めます。

<まちの駅・交流空間の創設>

市街地に農産物や土産品などの直売や起業意欲のある人を支援するアンテナショップ、小規模オフィス、地産地消レストランなどが入居する交流施設を公設民営方式により設け、観光客との交流促進や市街地のにぎわい再生に取り組みます。

<企業誘致と雇用の場の創設>

地場企業の育成とともに、IT産業や環境産業のリゾートオフィス(SOHO)等の企業誘致を促進するため地元民間事業者と連携し、土地や未利用空間情報等の適切な情報提供と受け入れ体制づくり、起業支援、PRを促進します。

次号は行政・財源編
を発行致します。

限られた塾報の紙面では、かたやま健也のまちづくりのすべてをお知らせ出来ないのが残念です。ご意見やご要望については速やかに対応致しますので、右記までご連絡下さい。
21年8月23日発行

片山健也後援会

虻田郡ニセコ町字本通166-1

電話 0136-43-2202

FAX 0136-43-2212

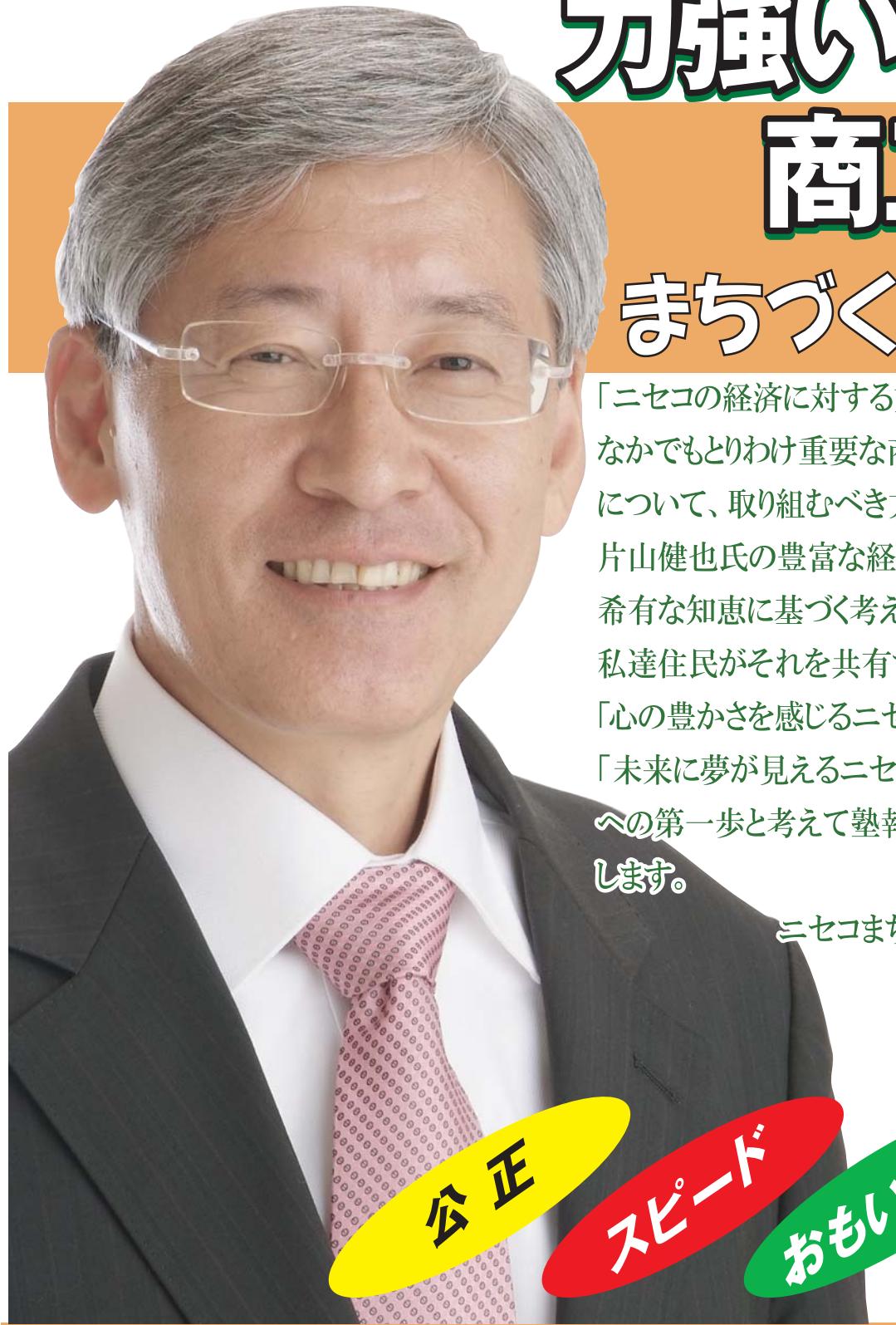
<http://www.katayamakenya.com>

力強いニセコ 商工業編

まちづくり塾 塾報4

「ニセコの経済に対する方策、なかでもとりわけ重要な商工業振興について、取り組むべき方向性」を、片山健也氏の豊富な経験と知識、希有な知恵に基づく考え方を伺い、私達住民がそれを共有する事が「心の豊かさを感じるニセコ」そして「未来に夢が見えるニセコ」の実現への第一歩と考えて塾報を発行致します。

ニセコまちづくり塾長



公正

スピード

おもいやり

こどもの笑顔が輝く元気なニセコをつくります
かたやま 健也 けん や

農業を軸に資源と経済が循環する、元気なニセコの経済をつくる。

力強い商工業に向けて、継続的な支援をします。

Q: ニセコの商工業の振興について聞きます。

A: まずもって小売業の抱える問題があります。近隣町村への大型店の出店による、町外への消費流出や通販の拡大により、小売店等商業の扱い高は減少の一途をたどり、また高齢化などの理由により経営の継続を断念するなど、商店街は存続の危機に瀕しています。小売業が衰退する事は、町の魅力が減少するばかりでなく、高齢者の皆さんをはじめ、私たちの生活を直撃する大変大きな問題です。一方、ニセコに魅力を感じて町内で事業を興す意欲のある若い方も数多く存在します。これらのマッチングをスムーズに進めることや、観光客の積極的な取り込みによる交流人口の拡大など、商店街を、まちづくりの重要な資産と位置付け、町民の理解のもと、町民はもとより観光客からも愛される魅力ある商店街づくりの支援に努めています。

Q: 具体的な取り組みを聞きます。

<商工会への支援の強化>

商工業振興の推進母胎である、町商工会へのこれまでの支援政策は、経営改善事業人件費補助を中心であり、地域唯一の経済団体として担うべき大きな役割である、地域振興を具体的に進める事業費については自己財源によるところが大きく、悪化する経済情勢の中では、事業資金の確保がますます困難になっています。このことから商工業の課題克服に向けた取組みは十分とは言えない状態です。

行政によらない民間事業者の自由な発想（民間の知恵）による、魅力ある商店街、工業の発展を促す取組みを活性化するため、様々なキメ細かな対策を実現します。短期的には地域商品券など直接的な対策を支援する一方で、将来の経営安定に繋がる継続性のある事業費補助の制度化や制度融資の見直しなど図り、商工業振興の支援を強化します。

<小売店、飲食店でのポイント制度の拡充>

現在、スタンプ組合が進めているポイントカード制度が、より多くの住民に利用されるものとなるよう利活用に関しての具体的な支援を行い、事業者の意欲向上と町内の消費意欲を高めます。

また、将来多くの店舗・観光施設などがカード社会に適応し、観光客等の町内消費を高めると共に、町内によりメリットを還元できる方法を検討します。今後増大が予測される東南アジア、中国等のからの流入に対応するカード導入について支援を行い、また ATM 設置、外貨交換の窓口など旅行者の利便性向上と消費意欲を高め、町内経済の振興や観光の街としてのイメージを高めます。
※町が明確な方針と協力姿勢を打ち出すことにより、関係機関の協力も可能になると考えています。

<ニセコビジネススクールの開催>

国や道の支援を受け、大学との連携により「ニセコビジネススクール」を開設し、住民自らがまちづくりの主役となるニセコ町をめざします。ニセコに移住された数多くの優秀かつユニークな人材の知恵と力をも借りながら、地域経済の発展に最も重要な、地域人材やリーダーの育成に努めると共に、学生の調査研究のための受け入れを図り、若者が活躍するまちを創出します。

<起業、創業、事業継承、業種業態転換支援>

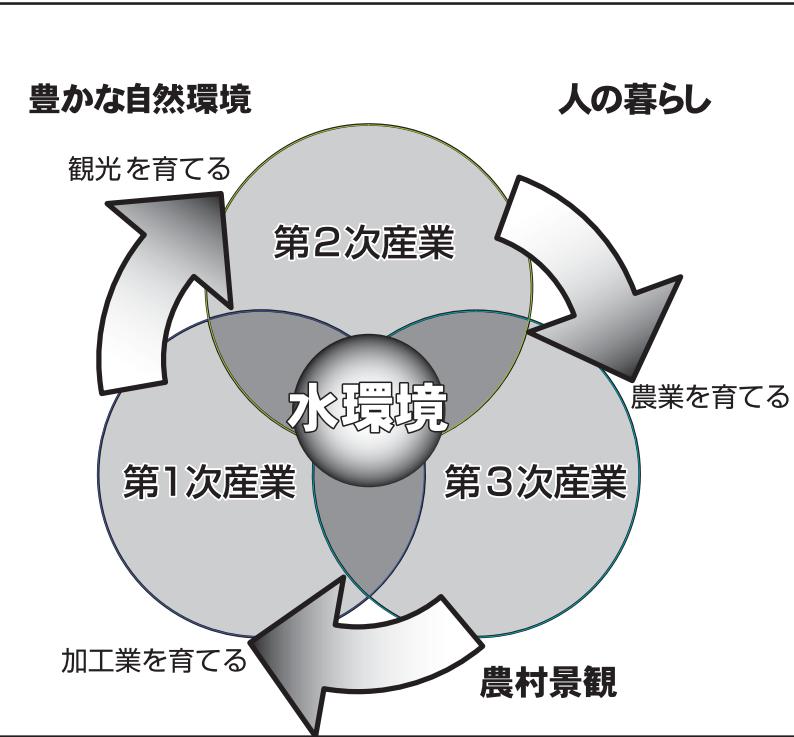
空き商業用地の有効活用、空き店舗をつくらない為の後継者対策、観光地としての商店づくりを進めるための、商工会との緊密な連携により、事業の承継、後継者支援、業種業態転換や新事業分野への進出、また創業支援などを積極的に取り組みます。

地球環境を大切に、循環型経済を創ります。

◎水環境を守る環境のまち

農業を主軸として、かけがえのないニセコの環境を守り・育て、世界に誇れる「小さな環境モデル都市」をめざし、資源循環型のニセコ町を創ることを全ての産業政策の上段に掲げ、ニセコらしい地域経済の確立をめざします。

実施に向けて、すでに策定しているニセコ町環境基本計画、各種エネルギー・ビジョンを再度点検し、実情に有った計画とし、農業・観光・商工業教育・福祉の政策に反映させます。



◎水環境を守る環境のまち

<水を保全する>

地下水や水道水源を守るために、水道資源等の保全の条例を制定します。

<森林資源を守り、育てる>

民有林や町有林の除間伐を行い、森林資源を育て、CO₂ の削減対策に取り組くむと共に、森創りに観光客が直接参加する、カーボンオフセット旅行を積極的に推進します。

<省エネルギー等の導入>

公共施設や産業施設に、省エネルギーの導入に努めるとともに、太陽光、風力、バイオマス等、新エネルギー、自然エネルギーなどの利活用に取り組み、新たな環境文化を醸成します。また、住宅への太陽光発電設備設置を推進します。



<一般廃棄物の広域処理>

廃棄物の広域処理について、積極的に対応し環境負荷の少ない地域づくりを進めます。

<リサイクルの推進>

廃油のリサイクルをはじめニセコではまだ取り組みが進んでいないリサイクル及びこれらの民間の取り組みを支援します。

かたやま健也氏に直接話を聞いてみたいと思う方ご連絡下さい、本人が直接お伺いします。

まちづくり塾 0136-43-2202